

「東京都女性活躍推進計画 令和6年度取組実績」

17 東京都公立中学校PTA協議会

番号		項目	「東京都女性活躍推進計画」 記載の内容	令和6年度取組実績
I ライフ・ワーク・バランスの実現と働く場における女性の活躍推進				
2 妊娠・出産・子育てに対する支援				
	55	地域での支援	様々な家庭環境に配慮しながら、男女双方が共に子育てする意味を考えます。 (1) 研修会・講演会等を開催します。 (2) 家庭の中で男女（父親、母親）が共に子育てをしていく環境づくりを考えます。 (3) 核家族やひとり親家庭の子育ての悩みを相談したり、子育ての学びの場を設けます。	全都地区PTA連合会会長会にて、各地区PTA連合会で課題となっていることや、各学校PTA活動での悩み、保護者の子育てや介護や高校受験等に関する悩みを共有したり、部活動地域移行等の知りたい情報を提供していく。
II 男女平等参画に向けたマインドチェンジ				
1 生活と仕事における意識改革				
(2) 男性の家事・育児参画に向けた意識改革				
	153	地域での支援	家庭の中で男女（父親、母親）が共に子育てをしていく環境づくりを考えます。	誰もが性別に関わらず家事や育児を分担し、PTA活動に関われることで子育てでの情報や学校での子どもの様子や地元地域にも関わっていけるようにPTA組織の在り方、活動方法を検討する。
2 教育・学習の充実				
(1) 学校での男女平等				
	188	男女平等参画意識の啓発	学校における男女平等の視点での教育について協力や働きかけを行います。	無理のない学校行事への参加・協力を働きかける。
	189	男女平等参画意識の啓発	子供たちが、男女を問わず、地域を問わない社会での活躍に向けて充実した教育を受けるため、国や東京都、各区市町村の教育行政に格差のない教育環境の拡充・充実を働きかける必要があります。そのために、都内の公立中学校すべてのPTA団体とつながり、各PTAから出される様々な要望を集約します。	・教育環境の拡充や学校の設備や通学路での防犯カメラ等の設置による安全・安心の充実につながるように全ての地区のPTA連合会に加盟を働きかけ、要望事項をまとめ国や東京都に要望していく。 ・地域格差や性別による差別のない、多様な生き方が認められる社会となるようICT教育のさらなる拡充を働きかける。
(3) 多様な学習・研修機会等の提供				
	229	男女平等参画意識の啓発	学校における男女平等の視点での教育について協力や働きかけを行います。	無理のない学校行事への参加・協力を働きかける。
	230	男女平等参画意識の啓発	子供たちが、男女を問わず、地域を問わない社会での活躍に向けて充実した教育を受けるため、国や東京都、各区市町村の教育行政に格差のない教育環境の拡充・充実を働きかける必要があります。そのために、都内の公立中学校すべてのPTA団体とつながり、各PTAから出される様々な要望を集約します。	・教育環境の拡充や学校の設備や通学路での防犯カメラ等の設置による安全・安心の充実につながるように全ての地区のPTA連合会に加盟を働きかけ、要望事項をまとめ国や東京都に要望していく。 ・地域格差や性別による差別のない、多様な生き方が認められる社会となるようICT教育のさらなる拡充を働きかける。

番号		項目	「東京都女性活躍推進計画」 記載の内容	令和6年度取組実績
3 あらゆる分野における女性の参画拡大				
(3) 地域活動				
254	父親等のPTA参加	男女双方がPTA活動に参加しやすい環境の整備 (1) 男性の参加が少ないという現実を踏まえ、活動内容や時間等を男性も女性も関わりやすいものとするようにしていきます。 (2) 男性や働く女性が参加しやすいPTA活動を考え、実践するために学習会を行います。 (3) 地域の小学校や中学校でPTA活動を経験した人は、後々地域の一員として地域活動に参加することが多く、PTA活動は、地域の人材を育てる機会の一つとなっていることから、保護者に積極的にPTA活動に参加してもらうよう声掛けをするなど、各校のPTAに働きかけていく取組を検討します。	・共働きが増えている今、平日や日中の行事への参加が難しくなったPTA活動において、日時や主体になる活動の工夫をし、LINEやZoom等を利用し参加しやすい環境を整えている事例を共有する。 ・PTA活動をする中で地域の中での町会の方々との交流、情報を得ることにより防犯・防災強化の重要性をできることの再認識を促すとともに、町会との連携強化につながるようPTA活動の参加を通じて働きかけていく。	
Ⅲ 多様な人々の安心な暮らしに向けた支援				
4 障害者への支援				
281	周知・普及啓発	通常学級において、発達障害等発達に課題のある生徒が周囲の無理解によって中傷やいじめの対象にならないよう、周囲の人達への理解啓発を進めます。	皆が進んで発達障害について学び、理解し行動することにより、自然に子供たちが容姿や人の心の痛みの分かる大人になれるように、意識向上を呼び掛ける。	